



30.8.23
陸幕広報室

国内における米海兵隊との実動訓練（ノーザンヴァイパー）の概要について

陸上自衛隊は、下記のとおり国内における米海兵隊との実動訓練（ノーザンヴァイパー）を実施しますので、お知らせいたします。

1 目的

陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、日米共同による諸職種協同作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動により訓練し、相互運用性の向上を図る。

2 期間

平成30年9月10日（月）～29日（土）

3 場所

北海道大演習場、矢臼別演習場、上富良野演習場等

4 統裁官

- (1) 陸上自衛隊
第2師団幕僚長 1等陸佐 きのだ すすむ 木之田 進
- (2) 米海兵隊
第36海兵航空群長 大佐 ジェームス F. ハープ (James F. Harp)

5 訓練実施部隊

- (1) 陸上自衛隊
 - ア 部隊
第2師団第25普通科連隊、第2特科連隊等（約1250名）
 - イ 装備品
89式5.56mm小銃、5.56mm機関銃MINIMI、12.7mm重機関銃、81mm迫撃砲、120mm迫撃砲、M24対人狙撃銃、99式155mm自走榴弾砲等
- (2) 米海兵隊
 - ア 部隊
第36海兵航空群、第2海兵師団第2海兵連隊第3大隊、第12海兵連隊（砲兵）第3大隊等（約1500名）
 - イ 装備品
5.56mm小銃、7.62mm中機関銃、7.62mm狙撃銃、60mm迫撃砲、81mm迫撃砲、対戦車ロケット砲、高機動ロケット砲システム（HIMARS）、航空機（MV-22、CH-53）等

6 備考

本訓練は、平成28年9月1日付の日米合同委員会合意に基づき、沖縄県外での訓練の一層の推進を図り、訓練活動に伴う沖縄の負担を軽減するため、現在普天間飛行場に所在するティルト・ローター機等の訓練活動を沖縄県外に移転し、実施するものです。

(問い合わせ先)

陸上幕僚監部広報室 安達、西村（担当）
(03-3268-3111 内線40084)